



## 生活介護事業所は、なぜ必要なのか

「日中の居場所」から、「地域で暮らし続ける力」へ

障害のある方が地域で安心して暮らし続けるためには、「住まい」だけでなく、日中に安心して過ごせる場所、健康を守る支援、人とのつながり、家族を支える仕組みが必要です。生活介護は、それらを一日の中で結びつける大切な障害福祉サービスです。今回の「夢花志」では、生活介護事業所が地域に必要とされる理由を、私たちの仕事とのつながりから考えます。

### 生活介護とは？

生活介護は、障害福祉サービスの一つです。常に介護や見守りを必要とする方に対して、日中の時間帯に、食事・排せつ・入浴などの介助、健康管理、創作活動や生産活動、社会参加の機会などを提供します。

|          |                                             |
|----------|---------------------------------------------|
| 対象となる方   | 常に介護を必要とする障害のある方                            |
| 主な支援内容   | 食事・排せつ・入浴などの介助、健康管理、創作活動や生産活動、機能訓練、社会参加支援など |
| サービス提供時間 | 原則として日中（概ね 9:00～16:00 頃）                    |



### なぜ今、必要なのか？

- 1 家族介護だけでは支えきれない**  
保護者の高齢化や世帯の小規模化が進み、「家族がずっと支える」ことを前提にした生活は難しくなっています。家族を支えることも、本人を支えることの一部です。
- 2 医療的な配慮が必要な方が増えている**  
服薬、てんかん、経管栄養、吸引、慢性疾患など、日中も健康状態の確認が欠かせない方がいます。看護職や医療機関との連携が重要になります。
- 3 「できること」を続ける場所が必要**  
障害があっても、役割や楽しみ、達成感は生活の質に直結します。創作、運動、作業、外出などを通じて、その人の力を活かす場が求められます。
- 4 地域で暮らし続けるための中継点になる**  
生活介護は、相談支援、訪問看護、訪問介護、住まい、医療、家族をつなぐ接点になります。小さな変化を早く見つけ、支援につなげることができます。



### 生活介護が果たす 4 つの役割



- 1 本人の安心：**体調に配慮しながら、安全に日中を過ごせる。
- 2 家族の安心：**介護を家族だけで抱え込まず、休息や就労の時間を持てる。
- 3 社会とのつながり：**仲間や職員との関わり、外出・活動などを通じて孤立を防ぐ。
- 4 生活の継続：**医療・福祉・相談支援がつながり、地域生活を長く支える。



生活介護は「預かる場所」ではなく、本人らしい一日をつくり、家族と地域の暮らしを支える場所です。

日本コミュニティーケアは、働く仲間とともに、生活介護の価値を高め、地域で支えあう仕組みづくりを進めていきます。





## 日本コミュニティケアが目指す生活介護

一つの事業所で完結するのではなく、地域の支援を「つなぐ」拠点へ

### 私たちの強みは「つなぐ力」

生活介護は、単独で存在するサービスではありません。普段から関わる職員が変化に気づき、必要な支援へつなぐことで、本人の生活はより安定します。

|      |      |        |
|------|------|--------|
| 訪問看護 | 相談支援 | 訪問介護   |
| 住まい  | 生活介護 | 居宅介護支援 |
| 医療機関 | ご家族  | 地域・行政  |

この輪の中心に生活介護が入ることで、日中の様子・体調・活動・家族の状況など、暮らし全体を見ながら支援を組み立てやすくなります。

### 一日の支援イメージ

|       |               |
|-------|---------------|
| 9:00  | 到着・健康チェック     |
| 10:00 | 個別活動・創作・運動    |
| 11:30 | 昼食・食事支援       |
| 13:00 | 休息・入浴・リハビリ等   |
| 14:00 | 作業・レクリエーション   |
| 15:00 | 振り返り・水分補給     |
| 16:00 | 帰宅・ご家族や関係者へ共有 |



※実際の支援内容は、一人ひとりの障害特性・体調・希望・個別支援計画に応じて組み立てます。

### コラム 生活介護は「できる」を見つける場所

生活介護では、小さな強み・日々のリズム・好きなことを職員と一緒に見つけます。その強みを支援に活かすことで、本人の自信につながり、ご家族の安心にもつながります。



### スタッフ一人ひとりにお願いしたいこと

- 「生活介護は自分の部署とは関係ない」と考えず、支援先の一つとして知ってください。
- 利用者さんの「日中の過ごし方」「家族の負担」「最近の変化」に目を向けてください。
- 困りごとを抱え込まず、相談支援・ケアマネ・看護・介護など、他職種へ早めにつないでください。
- できないことだけでなく、その人の好きなこと・得意なこと・続けたいことを共有してください。

支援の「入口」は、どの事業所・どの職員でもよい。  
必要な人を、必要な支援へつなげられる会社でありたい。

### 生活介護で大切にしたい5つの視点

- 1 **安全と健康**  
小さな体調変化を見逃さない。
- 2 **本人中心**  
「やらせる」ではなく「選べる」支援へ。
- 3 **個別性**  
障害名ではなく、その人自身を見る。
- 4 **家族支援**  
ご家族の安心と休息も支援の一部。
- 5 **地域連携**  
医療・福祉・行政・地域をつなぐ。



### 編集後記



「夢花志」を再開します。事業所の取り組み、制度の基礎、現場で役立つ知識、職員の声などを、できるだけ分かりやすく届けていきます。会社全体で同じ方向を向くための、小さな共通言語になれば幸いです。

次号候補：「相談支援専門員の役割」「医療と介護・障害福祉の連携」「BCPを日常に活かす」など

